

総務常任委員会

幸手市個人情報保護に関する法律施行条例  
(議案第59号)

**問** 国の個人情報保護法が変わり、市や団体も国の法律に従って、これまでの市の条例ではなく、国の法律で準用するというものだが、幸手市が適用する個人情報の数はどのくらい有るのか。

**答** 幸手市では個人情報ファイルを作成して管理する。例えば住民基本台帳の事務など、それぞれに對してどのような個人情報が含まれているか。と言う情報をファイル化して提示するもので、そのファイル件数は、286件ある。

幸手市情報公開・個人情報保護審査会条例  
(議案第60号)

**問** 条例の施行は4月だが審査員の選任はできているのか。

**答** これまでの審査会の委員に継続してやってもらう。

**問** 審査員の詳細は。

**答** 2人が弁護士で、もう1人が元大学の教授である。

**問** どの様な時に審査会が開かれるのか。

**答** 情報を開示できるかできないか市では判断できないときに審査会が開かれる。

令和4年度幸手市一般会計  
補正予算(第8号)  
(議案第64号)

**問** 天神の湯の使用料は、当初予算で1388万6千円を計上し、9月補正で694万4千円の減額、さらに今回の12月補正で694万2千円を減額すること、全額が減となった。当初予算では歳入を見込んでおり、市の判断のなかで方針転換があったための結果、一日も開館せずに全額を減額することになった、と言う理解でよいのか。

**答** 当初予算では、天神の湯を開館して可能な限り歳入を見込んで計上した。しかし、天神の湯の営業は、令和2年12月27日が最後で、新型コロナウイルス

感染症の感染防止対策で休止している。その後、再開に向けて点検、修繕を実地してきたが、更なる修繕の見積りが発生し、8月のアセットマネジメント推進会議や個別施設計画による、第1期中に検討をして、第2期で廃止をする計画を、前倒して廃止をしてはどうかという議論となり、9月に政策会議を行い、10月に廃止する方向で庁議にかけた。

**問** 庁舎総合管理業務委託料の減額は、入札による執行残とのことだが、どのような入札の状況であったのか。

**答** 11者による指名競争入札を行い落札率は89・8%となり、執行残410万円の減額となった。

**問** 繰越明許費の電気自動車急速充電器更新事業が、来年度には執行できる見込みがあるのか。

**答** この事業は、補助金を利用して工事を行いたいと考えている。来年度当初には早々に設計を組み直し、工事に着手できるように入札関係等も進めて行く。

**問** 幸手市土地開発公社が借入れする事業資金80億円という限度額が設定されているが、今現在、土地開発公社は先行取得も

行っておらず、そのような中で積算の根拠とはどのようなものか。

**答** 債務保証の限度額が80億円というもので、10年間継続しているが、積算根拠は特に明確なものはない。昨年度では、土地開発公社が銀行から3億7千800万円程の借入れをし、市が債務保証をしている。80億円の限度額は確かに大きいがこのような形で設定している。

令和4年度幸手市一般会計  
補正予算(第9号)  
(議案第72号)

**問** 歳入の1千万円の基金からの繰入れは、人事院勧告による、給与・期末手当等を社会一般の情勢に適応した金額への見直しを行うための予算措置か。

**答** 給与・期末手当等にあてる予算措置である。

**問** 国からの補助金は入っていないと理解してよいか。

**答** 補助金は入っていない。

# 文教厚生常任委員会

## 権利の放棄について (議案第62号)

**問** 入学準備金貸付金の債権を放棄するに至った経緯は。

**答** 貸付の申請を受けた後、返済が始まる前に、借受人の債務の免責許可が決定した旨、借受人の弁護士から通知があった。その後、3回の返済があったが返済が滞るようになり、調査の結果、連帯保証人が平成30年に亡くなったことを確認。残り10万円の債権を放棄するに至った。

**問** 連帯保証人が亡くなった場合、新たな保証人をつける仕組みはないのか。

**答** 今後、検討していく。

## 令和4年度幸手市一般会計 補正予算(第8号) (議案第64号)

**問** 放課後児童クラブ室への防犯カメラ設置工事の詳細は。

**答** 児童館に設置している児童クラブの敷地に休館時にごみ投棄や犬を入れたような形跡があり。警察と協議し、防犯・侵入抑止の観点から敷地内に4台を設置する。

**問** 敬老会の中止で記念品費の減額が計上されているが、記念品に代わるお祝いの方法はないのか。

**答** 敬老会の記念品配布は共催する社会福祉協議会とも十分に検討し中止とした。また、出席希望者が全体の約10%で出席率が低く、敬老会の在り方を見直す時期と考えている。記念品についても、改めて検討していく。

**問** 天神の湯の回数券払戻しで対象とする回は何年分からか。

**答** 天神の湯がオープンした平成17年4月以降に販売したものをすべてが払戻しの対象である。

**問** ハッピー・スマイ(米)ル引換券作成業務委託料の内容、今まで引き換え実績は。

**答** 来年度の引換券を作成する費用である。1枚当たり5キロの米を10月は2022袋、11月は1462袋分引き換えた。大きな問題点なく順調に開始していると考えている。



さくらファーム

**問** 保育所費の病児保育事業負担金17万円の増額理由は。

**答** 杉戸町の医療施設にお願いしている病児保育の受け入れ人数が、コロナの影響で当初の見込みより50人程度減ることが予測される。利用者数に応じて交付される国の補助も減額が想定され、杉戸町と協議し運営費を保証した上で国の補助が減額となる分を補てんするものである。

**問** 衛生費の時間外勤務手当100万円の増額理由は。

**答** 健康増進課では感染者対応として自宅療養支援などに時間外勤務手当を費やし、今後、通常の健康増進課職員の時間外勤務手当が足りなくなることから補正をさせていただくものである。

**問** 消防費の全国瞬時警報システム改修による市民への影響は。

**答** Jアラートに国が流す基準が地震動だけでなく、長周期地震動についても追加される。その受信のためのシステム改修であり、市民への影響はない。

## 令和4年度幸手市介護保険 特別会計補正予算(第2号) (議案第65号)

**問** 居宅介護サービス給付金3700万円の減額理由は。

**答** 居宅介護サービスについては、11本のサービスを提供しているが、上半期の執行状況を試算し、高額介護サービス費及び特定入所者介護サービス費の財源に振り替えさせていただくものである。



## 建設経済常任委員会

### 損害賠償の額を決定することについて (議案第63号)

**問** 今回、なぜこのような事故が発生したのか、その原因と損害賠償額の決定に至る経緯の内容は。

**答** 今回の事故は、8月25日に東5丁目地内において、経年劣化した150ミリの水道管が破損してしまい、そのことが原因で管内の水の流れや流速が変化してしまつたため、濁り水が生じた。破損により濁りが生じたことが原因であることから、市の瑕疵によるものであり、条例、法規等を確認して、損害賠償の義務を負う必要性があると判断した。事故発生からの対応としては、8月25日に相手方から問い合わせがあり、相手方の都合等からお会いできたのは、事故発生から1週間後の9月1日となりその際に写真等、事故が確認できる書類を提出していただいた。相手方からの修理請求依頼を受け、

市と契約している保険会社に、相手方から預かった書類等を提出した。内部での協議を重ね、本件は幸手市水道給水条例第14条第3項に該当しないという結論に至り、国家賠償法第2条の規程を準用し、損害賠償を行うこととした。



**問** 損害賠償事案に対する水道部の対応、事務手続きが今回、適切ではなかったと考えるが、損害賠償に対する今後の市の対応方法については。

**答** それぞれの案件に対して、法規法令を確認して、判断してゆく。

なお、今後、損害賠償事案が発生した際の対応基準等について、要綱や規程を整備していくことを検討していく、との答弁が併せてなされた。

### 令和4年度幸手市一般会計 補正予算(第8号) (議案第64号)

**問** 多面的機能支援事業補助金の減額理由は。

**答** 減額理由は、まず、戸島地区に事業予定をしていた組織が事業実施できなかったこと。2点目が令和4年度から新規で活動を始める組織について、活動面積が確定したこと。そして、3点目に現在、継続で活動している組織の長寿命化に係る事業の補助金額が減額で確定したことによる。

**問** 指定管理者光熱費高騰対策支援金の増額内容は。

**答** 昨今の電気料金の高騰に合わせまして指定管理者に対し

て、光熱水費高騰分に対する支援ということで補助金を支出するものです。内容については、都市計画課で所管している幸手総合公園ほか6公園に対する指定管理と平須賀南公園ほか4公園に対する指定管理の2つの指定管理業務に対する補助金である。幸手総合公園ほか6公園については、都市計画課と社会教育課、2課にわたって予算措置していますので、按分をしている、総額で86万円、そのうち、13万5千円が都市計画課分として予算計上している。平須賀南公園ほか4公園については、22万円の内訳となっている。

